

水田たより 8月号

令和4年8月1日

JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

水稻の生育概要

■成熟期予測（生育基準田調査より、出穂日・積算温度から成熟期見込みを算出）

品 種	移植日	出穂期（前年比）	成熟期見込み
あきたこまち（長島）	4月13日	7月4日（5日早い）	8月3日
コシヒカリ（桑名）	4月27日	7月22日（同程度）	8月22日
キヌヒカリ（大安）	5月15日	8月1日（見込み）	9月1日

■成熟期が早まる可能性があります！

気象庁の1か月予報（令和4年7月21日）によると、平均気温は平年並みか高い予想となっています。一部の水稻早生品種では出穂の早まりがみられるため、成熟期についても早まる可能性があります。適期に収穫できるよう、機械のメンテナンスなどの準備を進めましょう。

■収穫までの水管理 ※水不足に注意してください

出穂後20日間の平均気温が26～27℃を超えると、白未熟粒の発生割合が高くなります。登熟期間中は間断灌水を基本とし、稲株の温度低下および根の活力維持に努めましょう。

また、刈り取り前の早期落水も白未熟粒の発生を助長します。刈り取りの1週間前をめどに落水を行いましょ。



↑白未熟米の発生

水稻・大豆でのカメムシ防除の徹底

■水稻のカメムシ防除 引き続き徹底を！

桑名普及センターにて7月26～27日にすくいとり調査を行い、カメムシの発生を確認しました。三重県全体でも、例年に比べやや多いと病害虫防除所から報告されています。引き続き、収穫間近の水稻は収穫前日数に注意し、晩生品種も防除を徹底しましょう。

調査ほ場	調査地点数	(頭/ほ場)								計
		ホソハリ カメムシ	クモヘリ カメムシ	トゲ シラホシ カメムシ	シラホシ カメムシ	イネ カメムシ	ミナミアオ カメムシ	アカスジ カスミカメ	アカヒゲ ホソドリ カスミカメ	
		成幼虫	成幼虫	成幼虫	成幼虫	成幼虫	成幼虫	成虫	成虫	
木曾岬町	7	0.29	0.14	0.07	0.14	0.43	0.29	1.43	0	2.79
桑名市長島町	4	1.00	0	0	0	1.63	0	1.25	0.13	4.00
桑名市多度町	1	1.00	0	0	0.50	0	7.00	0	0	8.50
いなべ市	1	0.50	0	0	0	0	0	0	0	0.50
東員町	1	0.50	0	0	0	0	0	1.00	0	1.50

※ 本田における20回すくいとり調査結果（桑名普及センター調べ）

■大豆カメムシ類の防除も徹底をお願いします

ミナミアオカメムシなど一部のカメムシは、水稻だけでなく、これから防除時期を迎える大豆も吸汁する広食性を持ちます。

水稻でのカメムシの多発がみられるため、大豆の時期も多いと予想されます。

今年も大豆の**カメムシ2回防除の徹底**をお願いします！

大豆の等級について

大豆は1～3等級に分類され、等級があがるほど価格が高くなります。大豆の等級は、被害粒、汚損粒および未熟粒の割合によって決まります。

1ページ目で説明したカメムシが吸汁することで被害粒ができます。また、被害粒が多く発生すると青立ちの原因となります。青立ちや雑草が多いと汚損粒が発生します。

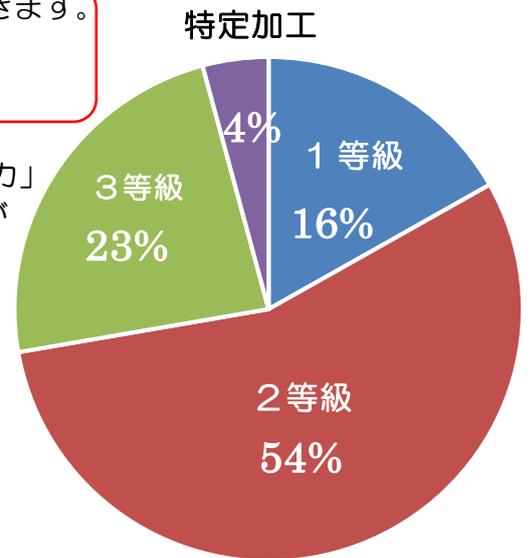
右のグラフは令和3年度に桑名管内で収穫された「フクユタカ」の等級割合になります。2等級の大豆が多くを占めていることがわかります。

下の表のように1等級と2等級では、10aあたり約2000円、3等級では、約4,000円もの収入差が発生します。

等級をあげるためには、**雑草防除、病虫害防除**が大変重要です。

	1等級	2等級	3等級
10aあたりの収入差	0円	-1,980円	-3,820円

※上記は、種類:普通大豆、粒別:大粒、単収:120kgで試算。
※収入差は、「元年産JAみえきた精算価格」と「経営所得安定対策数量払い交付金」により算出



桑名管内の令和3年産大豆の等級割合

大豆本田における除草について

大豆ほ場における雑草は、生育や収穫時の収穫ロスである汚損粒の発生にも大きな影響を与えます。そのため、大豆本田の雑草防除が重要です。また、薬剤での防除は雑草が大きくなると効果が弱くなってしまうため**早期の除草**を心がけましょう。



帰化アサガオ（生育初期）



ホオズキ類（生育初期）



ケイトウ類（生育初期）

出典：農研機構

上記のような雑草を防除するためには次の対策が有効です。

播種直後の除草剤散布

播種後1か月間の雑草防除をしっかりと行うことで大豆が生長し、後の雑草被害が小さくなります。

中耕・培土

中耕・培土には物理的な除草効果があります。詳しくは水田たより7月号をご覧ください。

生育期の茎葉処理剤による除草

早期の除草を心掛け、特に狭畦栽培では必ず行ってください。

（薬剤の詳細については、普及センター・JAにお気軽にご相談ください！）

雑草は**畦畔**からも本田に侵入してきます。そこで、畦畔の草刈りや除草をこまめに行いましょう。